

数学科学部学生、数理科学研究科大学院学生 各位

本日、7月13日(月)より、駒場キャンパスの活動制限のステージがイエローに緩和されます。詳細は大学院総合文化研究科・教養学部のホームページをご覧ください。また、数理科学研究科では、ステージイエローでの数理棟への入棟について、以下のように変更していますのでご注意ください。

—— 【 数理棟への入棟に関するガイドライン 】 ——

●駒場キャンパスがステージ・イエローのとき

段階的に入棟規制を緩和してゆく予定ですが、しばらくはステージオレンジでの対応を継続します。

ただし、指導教員または理学部数学科長が特に許可した場合には数理棟への短時間の入構を認めます。入構の必要がある場合には、あらかじめ理由書(形式は自由)をメールで指導教員に、指導教員が決まっていない学部3年生などは理学部数学科長に提出して許可を得てください。

なお、警備上の理由のため夜間(20時から翌日8時まで)と週末および休日の入棟は禁止します。また、院生室および研究室の使用は、指導教員が認めた場合にも一日2時間を限度とします。使用にあたっては、以下を励行してください。

- ・利用中は常時ドアおよび窓を開放する。
- ・同時利用はお互いの距離が2メートル以上あけられる人数に限る。
- ・原則としてマスク等を装着。

参考：クラスター(集団)の発生のリスクを下げるための3つの原則

換気を励行する：窓のある環境では、可能であれば2方向の窓を同時に開け、換気を励行します。ただ、どの程度の換気が十分であるかの確立したエビデンスはまだ十分にありません。

人の密度を下げる：人が多く集まる場合には、会場の広さを確保し、お互いの距離を1-2メートル程度あけるなどして、人の密度を減らす。

近距離での会話や発声、高唱を避ける：周囲の人が近距離で発声するような場を避けてください。やむを得ず近距離での会話が必要な場合には、自分から飛沫を飛ばさないよう、咳エチケットの要領でマスクを装着するかします。

令和2年7月13日
数理科学研究科